

社会福祉法人泉会 グループホームこいのにあ

2025 年度 地域連携推進会議議事録

日 時：2025 年 11 月 11 日（火） 10：00～11：00

会 場：グループホームこいのにあ 宇宙（そら）ダイニング

出席者：上北沢一丁目自治会会長 オンブズパーソン 社会福祉協議会上北沢地区事務局
世田谷区障害福祉部障害者地域生活課 利用者家族 利用者
施設長 管理者 支援課長 支援員

議 事

■ご挨拶 会議・グループホームこいのにあ概要説明

- ・施設長から挨拶、地域連携推進会議の目的、グループホームこいのにあの施設概要について説明を行った。本会議の目的は利用者と地域の関係づくり、地域に対してグループホームの理解促進、サービスの透明性、質の確保、利用者の権利擁護。
- ・施設概要：都営住宅跡地の都有地活用による地域の福祉インフラ整備事業に応募し、東京都と世田谷区の選考にて社会福祉法人泉会が施設整備をすることとなった。2018 年 11 月開所し翌年 1 月中旬には利用者が定員を満たした。7 年間で 2 名の方が退去し、都度世田谷区と連携し利用者入居募集を行ってきた。定員である男性 4 名、女性 4 名がグループホームこいのにあで生活している。

■出席者自己紹介

- ・参加者全員が自己紹介を行った。

■地域との関わり

- ・地域行事について報告を行った。施設公開行事ではグループホームの日常生活や行事の写真を掲示し、見学会を行った。
- ・近隣からの苦情について報告を行った。利用者の通勤・通所途上において、利用者が私有地にチラシを捨てる行為があると連絡をいただいた。現地を確認させていただき状況の把握を行った。その後見守り等により予防に努めたが、その行動が続いたため関係機関と連携し本人に説明を行い通勤・通所経路を変更した。新経路が定着できるよう関係機関と連携し見守りを行った。現在も新経路にて通勤・通所を継続することができており、特定の私有地にチラシを捨てる行為は解消された。

■利用者の権利擁護

- ・障害について理解を深めていただけるよう資料を用いて説明を行った。

- ・虐待、事故、ヒヤリハットの報告を行った。

虐待については法人で全職員対象に虐待防止研修を実施している。また、新規採用時にも資料を使って実施している。

2024 年度は、事故報告 2 件、ヒヤリハット 45 件だった。

事故としては請求書の誤配、利用者の通勤・通所途上において私有地に新聞、煙草の投げ入れ等があった。事故については世田谷区と東京都に適宜、書面報告をしている。

ヒヤリハットはキッチン周り職員のケアレスミスが散見されている。食器等破損、米飯炊き忘れ、麦茶吹きこぼれ等が出ている。また薬関係では実家帰省時に薬を渡し忘れ、使用期限切れ、服薬確認漏れなどがあった。

■施設等やサービスの透明性・質の確保

- ・利用者の日常生活について情報を共有した。

グループホーム利用者は制度上、同一敷地内の日中活動サービスを利用できない。そのため日中は一般就労や他事業所の就労継続支援 B 型、生活介護に通われている。週末は実家に帰省される方が多い。週末の過ごし方が各々確立されていて、実家でゆっくりされる方、スポーツを楽しむ方、ヘルパー利用や単独での外出をする方などがいる。

- ・経営状況について主な収入や支出について説明を行った。
- ・利用者、家族アンケート結果を一部報告した。

■世田谷区から

- ・世田谷区障害福祉部障害者地域生活課杉本様からグループホームの運営に期待することについて話があった。

グループホームの役割は、「利用者みなさまのそれぞれの暮らしを大切に、就労等の日中の活動を通じて社会的な役割を果たすことができるよう、利用者の方の意思決定支援をもとに、適切な支援により利用者の生活の質を向上させる」ことです。

「グループホームこいのにあ」におかれましては、グループホームの役割を継続していただくとともに、今後、更なる質の向上に向け取り組んでいただくことを期待しております。ぜひ、今回の地域連携推進会議にご参加いただいている関係者のみなさまにおかれましては、今後もグループホーム利用者みなさまが安心して暮らしている姿を見守っていただくようお願いいたします。

■質疑応答

特になし。

■会議終了後、施設見学実施を行った。

以上